



自宅学習をしっかりとできるようにしましょう！

学年末考査が終わり、一息ついているところでしょうか。十分な準備をし、最善の努力ができたでしょうか。3年生の進路未決定者も国公立大学の前期試験を終え、結果を心待ちにしながら一方では切り替えて中期試験・後期試験そして最後の私立大学一般入試に備え始めている頃です。2年生は1年後、1年生は2年後にはほぼ結果が出ている時期といえるでしょう。

生徒諸君は来月3月の行事は見据えているでしょうか。卒業式・高校入試での自宅学習期間・クラスマッチなどが含まれ実質完全に授業のできる日は「7」日だけです。そこで重要になってくるのが『自宅学習』です。もちろんそれぞれの教科から宿題が出されるでしょうが、それプラス『自分の勉強』というものを考えてみてください。この1年の復習をするのもよし、苦手科目の克服を考えるのもよし、しっかりした目標を持ってこの期間を過ごすということが何よりも求められます。新3年生、新2年生としてスムーズなスタートを切っていくためにもこの期間の学習についてしっかり考えることを切に願います。

ここで、『自分の勉強』について考えましょう。最近『提出するための』宿題、『先生に見せるための』予習をやって満足しているのではないかと感じるものがよくあります。近年の入試では、以前に比べると思考力・判断力を問う問題が増えたと実感します。模範解答を見て、ただ写しているだけであったり、解法をまねて結論を導くだけであったり、このような短絡的な解答では対応できなくなりつつあります。ということは『自分の頭を使った』勉強をしなければならないということです。自分で「ああでもない、こうでもない」と必死に考えて解答を導き出す学習を心がけましょう。とにかく自分で自分なりの答えを出し、それから模範解答を見たり教科書や辞書で調べたり等の作業へと移る学習です。そういう過程が自分の思考力・判断力として身に付いていくのです。

世の中が便利になり、インターネットをはじめ、知りたい情報が簡単に手に入る時代になっています。今後必要な資質は「その情報の信憑性を確かめる目」と「その情報を活用して新たなものを導



く思考力」です。比較的ゆとりのあるこの時期こそしっかりと時間をかけ、考えに考え抜いた解答を作ることが成績向上の近道です。入試期間と春休み、来年度を見越して充実した毎日を過ごしていきましょう。

大学入試センター試験について

さて、去る1月19、20日に大学入試センター試験が行われ、本校からも17人の生徒が受験しました。2年生文理コースが今月初めに受験したマーク模試はこの延長上にあります。過去2年間の平均点と昨年の受験人数を掲載してあります。

科目(配点)	平均H30	平均H31	受験者数
「国語」(200)	104.68	121.55	516,858
「世界史B」(100)	67.97	65.36	93,230
「日本史B」(100)	62.19	63.54	169,613
「倫理, 政経」(100)	73.08	64.22	50,886
「数学Ⅰ・A」(100)	61.91	59.68	392,486
「数学Ⅱ・B」(100)	51.07	53.21	349,405
「化学基礎」(50)	30.42	31.22	113,801
「生物基礎」(50)	35.62	30.99	141,242
「物理」(100)	62.42	56.94	156,568
「化学」(100)	60.57	54.67	201,332
「生物」(100)	61.36	62.89	67,614
「英語筆記」(200)	123.74	123.30	537,663
「リスニング」(50)	22.67	31.42	531,245

(「平成31年度大学入試センター試験実施結果の概要」より)

上記の表は本校受験生が受験した教科のみ記してあります。センター試験は大学・短大のほとんどで受験に必要な試験です。平均得点率が6割前後になっています。特に国公立大学では、定員約10万人であることを考えると、7割以上の得点率が必要です。

今年度の総受験者数は546,198人です。上記の表から英語は97%の受験者が受けています。これは受験において英語は必須になっていることを示しているといえます。大学等の個別試験にも文理を問わず英語が受験科目に入りつつあります。他教科も疎かにはできませんが、英語に苦手意識がある生徒は高い意識を持って取り組むべきです。また、1年生の受験から共通テストと名称が変わり、国語・数学では記述式問題の導入が決まっています。思考力をしっかりと養っていきましょう。

「受験生」になるための4ステップ!

特に新3年生となる2年生は「受験生」にならなければなりません。以下にステップを示してみましたので参考にしてください。是非1年生も確認してください。

I. 進路を決定しよう

やみくもに受験勉強を始めても、途中で息切れしてしまう可能性があります。まずは、「絶対〇〇大、△△学校に行きたい!」という強い動機(モチベーション)を持つことが大切です。まだ志望校が具体的には決まっていない人が多いかもしれませんが、本当に行きたい大学や学部、あるいは学びたい学問があれば、受験勉強への取り組み方も変わってきますので、進路についてしっかり考えましょう。

II. 入試までの流れを意識しよう

進路を決定したら、入試までの流れをイメージし、いつまでに何をすべきか、どのような勉強の進め方をすればよいかをノートに書き出してみましょ。今の学力を志望校入試の合格レベルに到達させるためには、やるべきことがたくさんあります。限られた時間で夢を実現させるためには、自分で小さな目標を立て、それを一つずつ達成していく力が必要です。

III. 基礎力を強化しよう

受験勉強を始めるにあたって、最初の大きな目標となるのは、基礎力の養成です。基礎力がなければ、どんな難しい入試問題も解くことができません。特に苦手な教科がある場合には、基本的な問題を解けるようにしていきましょう。また、3年生の夏休みまではあれこれ手を出すのではなく、基礎固め中心の勉強をしていきましょう。

IV. 計画表を作成し、受験勉強をスタートさせよう

やるべきことが整理できたら、計画表を作成し、受験勉強をスタートしましょう。まず、今から夏休みまでの具体的な勉強内容を、教科ごとに決めましょう。次に1週間単位で予定を振り分けましょう。その際、週末に予備日を設けるなどして、計画倒れにならないように工夫しましょう。

全国のライバルたちにも目を向けよう!

下記に示すデータをみると、全国のライバルたちがどう考え、動いているかが分かります。自分はどこにあてはまっているかを考え、改善点を発見しよう。

(2018 ベネッセスタディサポート2年生第2回全国集計より)

■受験勉強のスタート時期

(単位:%)

	全国
2年生の1学期以前	4.5
2年生の夏休み	6.6
2年生の2学期(9月以降)	31.2
2年生の冬休み	25.6
2年生の3学期(1月以降)	13.7
3年生になってから	14.5
受験勉強をするつもりはない	3.6

約8割の人が、2年生のうちに受験勉強をスタートすると答えています。どれだけ早く受験と向き合うことができるかが、合格への大きなカギとなりますので、「3年生になってから」と考えている人は、できるだけ早い時期にスタートさせ、合格へのステップをのぼり始めましょう。

■職業や大学で学びたい分野の研究

(単位:%)

	全国
自分で調べ先生や周囲の人に相談した	28.3
自分で本やインターネットなどで調べた	34.2
先生や周囲の人に相談した	11.7
これから考えたいと思っている	15.7
今後考えたいがどうしてもわからない	6.3
考えるように言われたがその気にならない	3.2
考える必要がないと思っている	0.4

7割以上の人が周囲の人に相談したり、本などで進路研究をしたりしているようです。「自分はどのようにしてその学校に行くのか」を明確にし、強い動機を受験勉強のエネルギー源にしていきましょう。



<3月の行事予定>

3月1日(金) 卒業式

3月2日(土) 土曜講座

3月6日(水)

～3月12日(火) 自宅学習期間

3月16日(土) スタディサポート

3月25日(月) 終業式